

令和 2 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会 情報提供・相談支援部会議事要旨

日 時：令和 3 年 2 月 4 日（木）14：00～16：30

場 所：Web（Zoom）会議のため、各施設にて

出席者：8 名

傳道聡子（県立中部病院）、仲宗根恵美（那覇市立病院）、宮城郁美（北部地区医師会病院）、樋口美智子（沖縄国際大学）、中山富美（地域統括相談支援センター）、増田昌人（琉球大学病院）、大久保礼子（琉球大学病院）、山田綾美（琉球大学病院）

陪席者：1 名 東恩納貴子（那覇市立病院）

欠席者：4 名 金城美奈子（県立八重山病院）、慶田博子（県立宮古病院）、島袋百代（ハニャンジャパン沖縄アフェリエイト）、伊波善之（沖縄県健康長寿課）

【報告事項】

1. 令和 2 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

資料 1 に基づき、令和 2 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨が承認された。伊波委員より、前回報告事項 8「がん総合相談に携わる者に対する研修事業に係る研修支援」について、関係者で再検討した結果、研修の開催を見送る決定となったと事務局へ報告があり共有した。

2. がん患者ゆんたく会（10～12 月）

資料 2 に基づき、令和 2 年 10～12 月に琉大病院で開催されたがん患者ゆんたく会について報告があり、新型コロナの影響で開催中止した拠点病院より口頭で現状報告があった。

県立中部病院では、12 月に返信用はがきを付けてクリスマスカードを郵送し、7 件の返事があり、再開を楽しみに待っているとの声もあった。去年 2 月からこれまで 5～6 回程度お便り郵送し、時々返送用はがきも添付し参加者の状況確認をしていると報告があった。

那覇市立病院では、参加者より再開を望む声もあるが、会場の確保ができず引き続き開催方法を検討中と報告があった。

琉大病院では、各月先着 10 名と人数制限を設け集合開催できた。10 月は患者会びんく・ばんさあを招き体験談講演、11 月は精神科医よりがん患者さんの気持ちのつらさについて講演いただいた。その後のフリートークでは講演の内容を踏まえ、参加者がお互いを励ますような声掛けをされていたと報告があった。仲宗根委員より開催基準について質問があり、琉大病院では感染対策室等の指導までは受けていないが、院内方針を基にセンター長が最終判断していると返答があった。

3. がん相談件数（10～12月）

資料 3-1～3-6 に基づき、令和 2 年 10～12 月の各拠点病院のがん相談件数について報告があった。

北部地区医師会病院では、面会制限が長期になってきているため、看取りを含めた在宅療養の調整が増えたと報告があった。

県立中部病院では、前回に引き続きゲノム医療に関する相談が多い傾向にあり、オゾン療法についての相談もあったと報告があった。

那覇市立病院では、がん種別にみると肺、大腸、乳房が多い傾向にあった。相談者の傾向は本人のみの相談も多かったが、付き添いあり、家族のみの相談も同様に各月多くあったと報告があった。

琉大病院では、各月 100 件前後で推移しており、在宅調整や緩和ケア調整が多い傾向にあった。当院からの転院後、転院先に相談員不在等で継続相談となり、他施設からの相談も各月 20 件前後あると報告があった。

県立宮古病院と県立八重山病院は、紙面報告いただいた。

4. がん相談件数集計（10～12月）

資料 4 に基づき、山田委員より令和 2 年 10～12 月の沖縄県がん相談件数集計の報告があった。全体件数は 600 件前後を推移しており、相談内容はホスピス・緩和ケアが前回より増加している。在宅医療に関する相談は前回に引き続き、新型コロナの影響も受け前年度よりは多い傾向にあると報告があった。また、集計方法に関して、大項目でまとめず、小項目に分類して集計を出すよう依頼・周知があった。

5. がん相談支援センターの広報

資料 5-1 に基づき、山田委員よりがん相談支援センターの広報の報告があった。無料広告覧の枠が小さくなっているが、比較的多い頻度で掲載いただいている状況あり、引き続き広報活動を行っていく。

資料 5-2 に基づき、大久保委員より県下共通がん相談支援センターのチラシ送付について報告があった。琉球大学病院の名称変更に伴い、刷り直し発送済みと報告があり活用いただくよう周知があった。ポスターについては後日発送する。

6. 地域統括相談支援センター活動報告

資料 6 に基づき、中山委員より 10～12 月の地域統括相談支援センターの活動報告があった。各月琉大ゆんたく会に 2 名のピアサポーター派遣しており、グループファシリテーターを務めるようになったと報告があった。養成講座やフォローアップ研修会など夏頃から延期となっていたが、今年度は中止、次年度に引き継ぎ開催予定。

7. 第2回、第3回がん相談員実務者研修会

資料 7-1 に基づき、傳道委員より第2回がん相談員実務者研修会について報告があった。11月7日に「妊孕性温存療法」のテーマで、院内講義を事前収録してのビデオ講義とワークショップを行った。収録の際に収録ができていなかったと反省点があったが、14名の参加があり、妊孕性温存療法について学ぶ機会があり大変良かったと好評をいただいた。

資料 7-2 に基づき、仲宗根委員より第3回がん相談員実務者研修会について報告があった。12月12日に「がんになった親をもつ子どもへの支援」のテーマで、チャイルドスペシャリストを招いての講義とワークショップを行った。参加者は32名、看護師が半数以上、社会福祉士、心理士等の参加があった。苦手意識や抵抗があったが、講義とグループワークを通して関わり方や働きかけ方を学ぶ良い機会となったとの感想が多く、多職種での意見交換ができていた。一方で、グループワークの時間が短かったとの意見もあり、事例は1例に重視した方が良いのか等、次回開催に検討したいと報告があった。

8. 相互評価訪問（琉大病院）

資料 8 に基づき、大久保委員より12月22日実施された相互評価訪問（琉大病院）について報告があった。プログラム全体で1時間を予定していたが、部署訪問・ヒアリングに時間を要したため、次回開催時は全体で2時間を検討する必要がある。PDCA実施状況チェックリストを用い指標186点満点中148点と8割程度達成できている状況となった。相談対応のモニタリングや安全管理に関して改善を要する点については引き続き検討し、記録方法等について実際に電子カルテを用い紹介することができ、外来化療室からの介入依頼の定着していることなど、改めて確認できて良かったと報告があった。

次回開催について、県立中部病院は副院長が同席のもと、3月3日か3月10日で調整中と報告があった。3月3日は琉大病院が病院機能評価の予定あり、3月10日を希望。那覇市立病院はセンター長の同席可能だが、具体的な日程は調整中のため決まり次第、連絡いただくこととなった。

9. 第15回都道府県がん診療連携協議会 情報提供・相談支援部会

資料 9 に基づき、大久保委員より第15回都道府県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会について報告があった。コロナ渦における県拠点病院の活動や相談支援センターの運営に関しての事前アンケートを中心に協議が行われた。国立がんセンターより毎年集合開催している基礎研修(3)を次年度はハイブリット開催を検討しており、沖縄県で開催する場合はファシリテーターなど協力いただくよう周知があった。また、指導者研修はオンライン開催しており、各施設にて参加検討するよう周知があった。

10. 第7回がん患者サロンネットワーク会

資料10に基づき、山田委員より第7回がん患者サロンネットワーク会について報告があった。2月6日に集合形式で予定していたが、新型コロナの影響で開催を延期することとなった。患者サロンをオンラインで開催するメリット・デメリット等についてNPO法人がんサポートコミュニティの大井先生にご講演いただく予定だった。状況を見て開催の調整、また完全ウェブ開催についても検討することとなった。

【協議事項】

1. 相互訪問評価の次回開催について、各施設での評価（PDCAチェックリスト）

報告事項8と併せて協議が行われた。

2. 就労支援研修会の実施について

資料11に基づき、大久保委員より就労支援研修会の実施について説明があった。開催は2月27日、完全オンラインでの開催を予定している。産業保健総合支援センター、ハローワークより講師を招き活動紹介、県立中部病院での取り組み紹介を予定している。各施設での取り組みや今後の課題等について情報共有できるよう企画しており、周知いただくよう協力依頼があった。

3. 令和3年度部会計画（ロジックモデル）

資料12-1～12-4に基づき、増田委員より令和3年度部会計画（ロジックモデル）について提案があり協議が行われた。中間アウトカムに直結するような施策や活動計画を作成するよう説明があった。情報提供部門の中間アウトカム「患者やその家族が、医療者から十分な情報を得られている」に対し、がん相談支援センターに行くシステム構築について検討され、重点的に次年度計画に組み込んでいくこととなった。相談支援部門やその他施策などについても事務局にて整理することとなった。

4. 部会委員構成について

大久保委員より、次年度の委員変更等あれば事務局へ連絡するよう周知があった。構成委員について、小児などの拠点病院以外の相談員や訪問看護師などの増員の提案があり、部会計画作成後に必要と思われる施設部署へ依頼し編成することとなった。部会長・副部会長は個別に相談することとなった。

5. その他

(1) 次回開催について

令和3年5月13日（木）に開催することとなった。Webでの開催を予定。